

ハザードマップを参考にして、
避難先についてご家族で話し合ひましょう。

避難先

ご家族の連絡先

名前	電話番号

災害情報の確認はこちらでチェック!

気象情報のポータルサイト「気象庁HP」
気象庁が運営する、危険度分布を確認できる「キキクル」
インターネットを見られない方は、テレビのデータ放送を活用しましょう。データ放送はリモコンの「dボタン」を押すことで視聴できます。

災害用伝言ダイヤル「171」

大きな災害が発生した場合、NTT東日本・西日本は災害用伝言ダイヤル「171」、各携帯電話会社は「災害用伝言板」の運用を開始します。これらは、家族や知人に無事を知らせたい時や安否を確認したい時に利用できます。安否確認の方法や使用順位を家族で話し合っておきましょう。

事前に備蓄品・防災カバンをチェック!

ハザードマップで問題がなくても、災害が発生すると停電や断水が起こる可能性も! 事前に備蓄品の準備をしておきましょう。

必要な備蓄品目リスト ※東京備蓄ナビにて算出した4人家族 (構成: 男女高齢者、男女成人/戸建て/ペットなし)3日間分の数量。

食品等 <input type="checkbox"/> 水:36L <input type="checkbox"/> レトルトご飯:36食 <input type="checkbox"/> レトルト食品:12個 <input type="checkbox"/> 缶詰:12缶 <input type="checkbox"/> 無洗米:5kg <input type="checkbox"/> 飲み物:12本 など	衛生用品 <input type="checkbox"/> 簡易トイレ:60回分 <input type="checkbox"/> 除菌ウェットティッシュ:120枚 <input type="checkbox"/> アルコールスプレー:2本 <input type="checkbox"/> マスク:12枚 <input type="checkbox"/> 救急箱:1箱 <input type="checkbox"/> 常備薬:1箱 など	女性用品 <input type="checkbox"/> 生理用品:30個セット など 高齢者用品 <input type="checkbox"/> おかゆ:18食 <input type="checkbox"/> 処方箋薬:医師・薬剤師に相談 など
--	---	--

生活用品

<input type="checkbox"/> カセットコンロ:2台 <input type="checkbox"/> カセットボンベ:ガスコンロ1台につき1日4/3本 <input type="checkbox"/> トイレトーパー:4ロール <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー:4箱 <input type="checkbox"/> 懐中電灯:2灯 <input type="checkbox"/> 乾電池:単1~単4までのセット	<input type="checkbox"/> 携帯電話 充電器:携帯台数に合わせて用意 <input type="checkbox"/> 手回し充電式などのラジオ:1台 <input type="checkbox"/> 給水袋:4袋 <input type="checkbox"/> LEDランタン:最低3台 <input type="checkbox"/> ヘッドライト:4個 <input type="checkbox"/> リュックサック:1個 など
--	---

その他

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

防災士 齊田さんのイチオシ!
最低限の備えとして、お水と簡易トイレは準備しておきましょう!

※家族構成によって備蓄する量は変動します。ご家族の人数や生活様式に合わせて事前に必要な備蓄品の準備をしておきましょう。



JA共済アプリでは、お勤め先やお出かけ先のハザードマップや避難先も確認できます!



建物更生共済 むてき共済 My家財共済 備えは、なるべくお早めに



気象予報士・防災士 齊田季実治氏 監修

防災チェックシート

突然襲いかかる災害

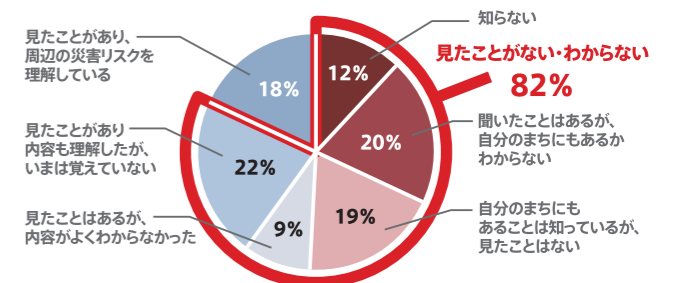


近年、全国的に雨の降り方が激しくなっています。その一因として言われているのが地球温暖化。気温が高くなることで空気中に含むことのできる水蒸気量が増加し、1時間に80ミリ以上の「猛烈な雨」が降る回数が増加傾向です。その際、これまで洪水や土砂災害などが発生しなかった地域でも災害が起こる可能性があります。

ハザードマップを知っていますか?

お住まいの地域によっては、洪水や土砂災害など、さまざまな災害が発生するリスクがあります。

ハザードマップを活用すれば、これらの災害の危険度合いを確認することができ、災害が発生した際に取るべき行動などを事前に把握することができます。



ハザードマップを見たことがない・わからない人が約8割。
(2019年1月、全国の男女 n=1,772) 出典: (一社)防災ジオラマ推進ネットワーク

お住まいの地域でどのような災害が心配でしょうか? 心配な順番に番号をふっててください。

洪水 ()	高潮 ()	津波 ()	土砂災害 ()

実際に、お住まいの地域のハザードマップを見てみましょう。

！ お住まいのハザードマップは何色でしたか？

浸水想定区域		洪水	高潮	津波
20.0m～		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10.0m～20.0m		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5.0m～10.0m	2階の屋根以上が浸水する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3.0m～5.0m	2階部分まで浸水する程度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
0.5m～3.0m	1階天井まで浸水する程度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
～0.5m	大人の膝までつかる程度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

土砂災害警戒区域		特別警戒区域	警戒区域
 急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)	傾斜度が30度以上である土地が崩壊する自然現象	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 土石流	山腹が崩壊して生じた土石等または溪流の土石等が一体となって流下する自然現象	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 地すべり	斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する自然現象	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

特別警戒区域
警戒区域の中でも、土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあります。

警戒区域
土砂災害のおそれがある区域で、土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあります。

！ ハザードマップを確認した上で、避難行動を確認

■洪水／高潮／土砂災害(風水害に起因)

警戒レベル	取るべき行動	市町村の対応	情報
5	命の危険 直ちに安全確保! すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	キキクル 災害切迫 大雨特別警報 氾濫発生情報
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞			
4	危険な場所から全員避難 台風等により暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示	危険 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮特別警報 高潮警報
3	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難	警戒 大雨警報(土砂災害) ^{※1} 洪水警報 氾濫警戒情報 高潮注意報 (警報に切り替える可能性が高い)
2	自らの避難行動を確認 ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認する。		注意 大雨注意報 (警報に切り替える可能性が高い) 洪水注意報 氾濫注意情報 高潮注意報
1	災害への心構えを高める		早期注意情報 (警報級の可能性)

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、高齢者等は危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル3に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

■津波(地震に起因)

想定される津波の表現	取るべき行動	情報
巨大	巨大な津波が襲い、木造家屋が全壊・流失します。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。	大津波警報
高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。	津波警報
(表記無し)	海の中では人は速い流れに巻き込まれます。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。	津波注意報

！ 風水害だけでなく、地震のリスクも忘れずに!

地震大国・日本。いつ大地震が起きてもおかしくありません。世界のマグニチュード6.0以上の地震の約2割が日本で発生しています。わかっているだけでも約2,000もの活断層があり、このうち、近い将来に大きな地震を起こす可能性が高い活断層が複数指摘されています。



地震に対する備えも忘れずにチェックしておきましょう!

【監修】
気象予報士・防災士
齊田季実治氏

<プロフィール>
1975年生まれ。北海道大学で海洋気象学を専攻し、在学中に気象予報士資格を取得。防災士、一級危機管理士、星空案内人、JLA認定ライフセーバー。平成18年からNHKで気象キャスターを務める。現在は「ニュースウオッチ9」「明日をまもるナビ」などに出演。連続テレビ小説「おかえりモネ」気象考証を担当。